

Hitachi Group Identity

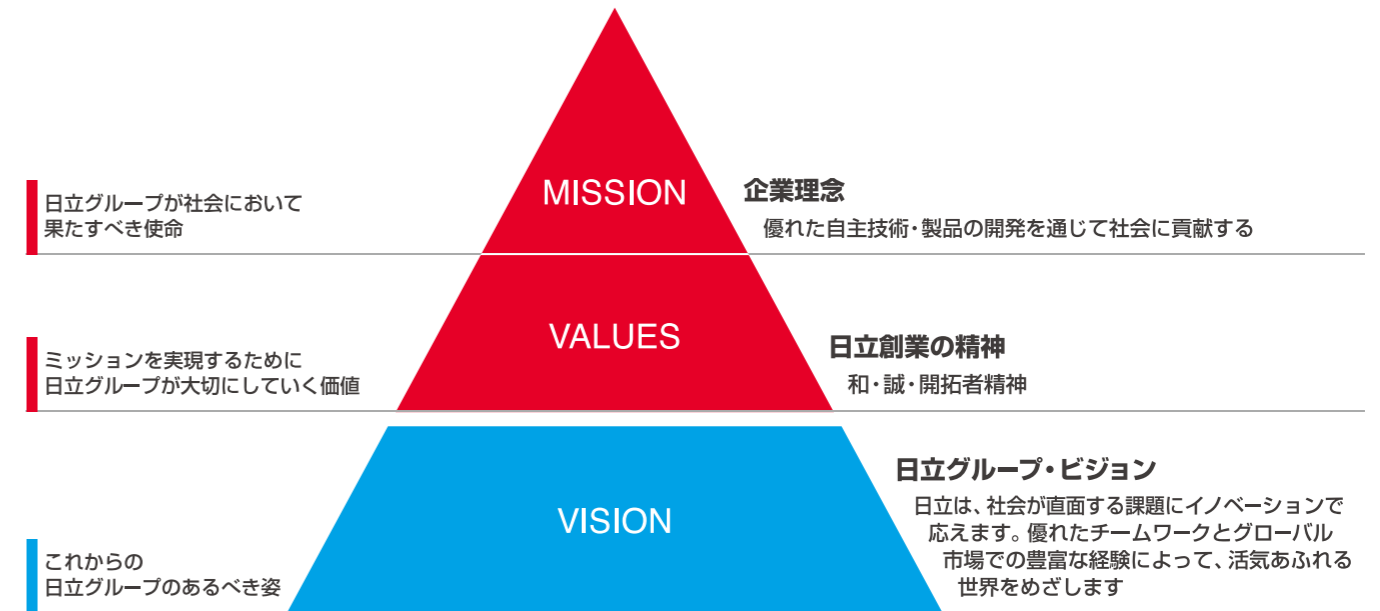
創業以来、100年を超える日立の歴史は、創業者小平浪平の「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念の上に築かれています。独自の技術を磨き続け、いつの時代でも社会が直面する課題を解決するプロダクト・サービスの提供を通じて、日立は社会への使命を果たしてきました。

日立の企業理念は社会に貢献する、あるいは社会課題の解決に取り組むという点で、国連が採択した持続可能な開発目標(SDGs)や、日本政府が提唱するSociety 5.0*が掲げる理念と共有し得るものです。現在そしてこれからも、日立は幅広い事業活動を通じて、お客様や社会の課題解決に貢献し、活気あふれる世界の構築をめざします。

* Society 5.0: 日本政府が掲げる新たな社会像であり、その実現に向けた取り組みのこと。AIやIoT、ロボットなどの革新的な科学技術を用いて、社会のさまざまなデータを活用することで、経済の発展と社会課題の解決を両立し、人間中心の豊かな社会をめざす。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く5番目の新たな社会として位置づけられている。

日立グループ・アイデンティティ

創業者小平浪平が抱き、創業以来大切に受け継いできた企業理念、その実現に向けて先人たちが苦勞を積み重ねる中で形づくられた日立創業の精神。そしてそれらを踏まえ、日立グループの次なる成長に向けて、あるべき姿を示した日立グループ・ビジョン。これらを日立グループのMISSION、VALUES、VISIONとして体系化したものが、日立グループ・アイデンティティです。



日立製作所創業者 小平 浪平



創業時の修理小屋



日立鉱山発電所 (1916年撮影)

MISSION

企業理念

1910年、日立は茨城県にある鉱山機械の修理小屋で創業しました。

日本がまだ外国の製品や技術に頼っていた時代に、小平は、自分たちの技術力を信じ、たゆまぬ努力と尽きる事のない情熱でモノづくりに挑戦し続けるチームをつくりました。

チームの原動力は、「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という小平の高い志です。この志こそが、日立グループの原点であり、「日立グループ・アイデンティティ」の「企業理念」(MISSION)として、最上位に位置づけられるものです。

VALUES

日立創業の精神

和

他人の意見を尊重しつつ、偏らないオープンな議論をし、一旦決断に至れば、共通の目標に向かって全員一致協力すること。

誠

他者に責任を転嫁せず、常に当事者意識を持って誠実にことに当たること。
社会から信頼を勝ち得るための基本姿勢。

開拓者精神

未知の領域に、独創的に取り組もうとすること。
常に専門分野で先駆者でありたいと願い、能力を超えるような高いレベルの目標に挑戦する意欲のこと。